

健康セミナーを実施して

北九州市消防局

1 はじめに

北九州市（以下「本市」という。）は、昭和 38 年 2 月 10 日に旧五市（門司市・小倉市・八幡市・若松市・戸畑市）の対等合併という全国的にも珍しい形で誕生しました。

この合併に併せて、本市消防団は 6 消防団 89 分団、2,979 名体制でスタートしました。その後、昭和 49 年の行政区再編成に伴い、消防団も再編成し、現在の 8 消防団 69 分団、2,030 名体制となりました。

なお、本市は、平成 25 年 2 月 10 日に北九州市制 50 周年という記念すべき年を迎え、さまざまな 50 周年記念事業を行いました。その中でも、本年 2 月 9 日（日）に本市では初めてとなる「北九州マラソン」を開催、約 1 万 1 千人のランナーが参加して、大成功を収め記念すべき年を締めくくりました。

2 女性消防団員の活動状況

本市の女性消防団員は、昭和 63 年に採用を開始し、現在は全団員が各消防団本部の配置となっています。女性消防団員の定員は、消防団の規模により、20～28 名となっており、市内で約 150 名の女性消防団員が活躍しています。

女性消防団員の活動としては、各消防団で防火劇団や女性だけのはしご乗りなど、独自の特色ある活動を行っています。本市共通の活動としては、介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー 2 級）の資格を持った女性消防団員が、女性の感性を生かして、高齢者世帯を防火訪問する「いきいき安心訪問」という福祉施策を行っています。

なお、資格取得に要する費用は全額市が負担をしており、ほとんどの女性消防団員がこの資格を

有しています。

「いきいき安心訪問」では、女性消防団員が 2 人 1 組となって、1 人暮らしの高齢者宅を訪問し、以下のような活動を行っています。

- ① 防火・防災指導
- ② 家庭内で発生しやすい事故の予防・指導及び救急指導
- ③ 軽度なホームヘルプサービス（家庭内の簡単な整理整頓、身体介護等）
- ④ 健康状態のチェック
- ⑤ 福祉的な相談に対する関係機関への連絡
- ⑥ 台風、地震時等の避難方法、避難場所等の周知
- ⑦ 交通安全指導
- ⑧ その他

いきいき安心訪問は、年間約 2,500 世帯を訪問しており、市民から高い評価を受けている事業です。



いきいき安心訪問の様子

3 健康セミナー開催に至った経緯

本市における消防団員の集合研修は、毎年、初任科研修、幹部科研修、消防団員研修及び女性消防団員研修を開催し、いずれの研修も 100 名以上が参加しています。

このうち、女性消防団員研修は、全女性消防団

員を対象としているため、参加者は毎年ほぼ同じとなることから、毎年違う研修内容で開催しています。近年では、各消防団が独自で行っている活動の披露や防災クロスロード研修、高齢者の孤独死を防ぐ地域コミュニティづくり研修などを実施してきました。

健康セミナーは、本市女性消防団員の発足から25年が経ち、平均年齢も高くなってきたことや、地域のために活動をするためには、まず、自身の健康管理をたいせつにしないといけないということで、生活習慣病を予防するため、開催することとなりました。

4 健康セミナーを実施して

健康セミナーは、平成26年2月2日（日）に開催し、日本赤十字社福岡県支部 嘉麻赤十字病院看護係長の林田好子さんにお越しいただき「生活習慣病の予防」について御講義いただきました。

講義では、生活習慣病の基礎知識や健康管理のポイント、自身でできる健康チェック法といった一般的なことから、参加者が全て女性ということもあり、女性独自の健康管理のポイントといったきめ細やかな部分まで非常に内容の濃い研修でした。また、消防ならではの肉体的・精神的な負荷やストレスについての注意も御講義いただきました。



た。受講した女性消防団員からは、「ふだんなにげなく耳にしている『生活習慣病』が、実は身近なものだと感じた」、「あらためて日常生活を見直すキッカケとなり、自身の状態を見つめなおす良い機会となった」、「自分の体の状態を知って、心と体の健康を保つことが今後も消防団活動を続けていくためにたいせつ」といった前向きな感想が出ていました。

なお、今回の健康セミナーには、111名の女性消防団員が参加しましたが、「参加できなかった女性消防団員のために、ぜひまた開催して欲しい」、「女性だけでなく、男性消防団員のためにも開催して欲しい」といった意見も多く出ました。

5 今後の取組

今後も消防基金の御協力をいただき、健康セミナーやS-KYT研修等を定期的に開催して、公務災害の発生防止や安全に係る知識を習得していきたいと考えています。

市民の安全安心を守る消防団員として、自らの安全を確保することは、消防団活動の根幹ともいえます。各種の研修を行うことにより、市民の安全安心はもちろんのこと自身の安全も守ることができる消防団員として、スキルアップを図ってまいります。

